



日本中央競馬会
特別振興資金助成事業

事例解説集

悪臭苦情を減らすために ～養豚・酪農経営をささえる技術と知恵～



財団法人 畜産環境整備機構

はじめに

昨今の国民の環境問題への関心の高まりや、畜産経営の大規模化、宅地と混住化等畜産環境をめぐる情勢はますます厳しくなる中で、水質汚濁防止法における畜産経営体より排出される硝酸性窒素暫定基準値の見直し、家畜排せつ物をメタン発酵した際に排出する消化液の処理、利用問題、家畜排せつ物の管理・処理過程により発生する臭気に係わる悪臭苦情問題等緊急に解決を図らなければならない課題の解決が重要な命題となっております。

これらの課題に的確に対処するため、当畜産環境整備機構は、平成20年度から3年間の予定で「畜産環境緊急技術開発普及事業」に取り組んできました。その一環として実施した悪臭苦情低減技術等開発普及事業において、畜舎施設の構造や飼養管理技術の改善指針の策定等畜産に起因する悪臭苦情の低減の評価に効果的な手法を用いて現地調査を行いました。

本資料は、収集した畜産に起因する悪臭苦情低減に寄与する技術情報を普及・推進するため、「悪臭苦情を減らすために～養豚・酪農経営をささえる技術と知恵～」と題し、事例解説集として取りまとめたものです。

本資料の刊行にあたって、事業の推進にご指導いただいた委員ならびにご執筆頂いた方々に感謝申し上げますとともに、本資料が、畜産経営からの悪臭低減に取り組まれている民間団体、生産者、行政機関等の関係者の皆様方に参考となり、環境保全型農業の推進に資することができれば幸いです。

平成23年 3月

財団法人畜産環境整備機構

理事長 堤 英 隆

目 次

はじめに

第Ⅰ章 畜産経営に伴う悪臭苦情の実態	1
1 悪臭苦情発生状況	1
ア 悪臭苦情の発生件数と苦情率	1
2 飼養規模拡大と混住化に伴う苦情の特徴	2
ア 敷地境界線の近接化と施設配置の問題	3
① 農場施設と敷地境界線の近接化	3
3 悪臭防止法についての基礎知識	6
ア 悪臭防止法の基本的な考え方	6
イ 苦情発生から立ち入り検査・解決までの手順	7
第Ⅱ章 管理の適正化	8
1 管理技術	9
ア 豚房の定期清掃（日常清掃）	9
イ 排せつ場所を認識させる	10
① 豚が汚しにくい豚舎構造などの条件（部分スノコ）	10
ウ 下痢発生の防止（豚の体調管理）	10
エ 床への敷料の利用	12
① 敷料の確保	12
② 敷料利用による快適な環境作りと 堆肥化時のアンモニア揮散の減少	13
オ 開口部面積の減少	14
① 開放型豚舎での巻き上げカーテンの開閉	14
② 生ふん貯留場・固液分離場所の密閉化	15
第Ⅲ章 ふん尿分離の徹底	16
1 管理技術	16
ア スクレーパーの稼働	16
① 稼働回数	17
イ スクレーパーの取りこぼし	18
① ふん尿分離機能の低下	18

② 牽引量の超過	18
ウ バークリーナーのふん尿分離溝（副尿溝）の掃除	19
エ フリーストール牛舎の高水分ふん尿	20
第IV章 施設構造による臭気対策	23
1 施設構造	23
ア 水張り豚舎	23
イ フラッシング豚舎	26
ウ ハニカム脱臭装置（バイオフィルターシステム）	27
エ 囲い壁の設置	28
オ 除塵布や除塵装置の設置	28
第V章 環境美化と近所とのコミュニケーション	29
ア あいさつ	30
イ 畜舎周りの整頓・植栽	31
① 養豚	31
② 酪農	32
ウ ハエ対策	33
エ 公的機関への相談	33
第VI章 農家アンケート	34
1 アンケート実施	34
ア アンケートの目的	34
イ アンケートの方法と回収率	34
ウ アンケートの設問	34
エ 取りまとめ方向	34
オ 養豚農家アンケート票	35
カ 酪農家アンケート票	38
2 調査結果	41
ア 養豚農家	41
アンケート集計表（母豚規模別）	52
イ 酪農家	60
アンケート集計表（搾乳牛規模別）	72
アンケート集計表（地域別）	79

畜産環境緊急技術開発普及事業

事例解説集：悪臭苦情を減らすために
～養豚・酪農経営をささえる技術と知恵～

平成23年3月17日発行

発行 財団法人畜産環境整備機構
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5丁目12番1号
ワイコービル2階
TEL：03-3459-6300 FAX：03-3459-6315

編集および連絡先 財団法人畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所
〒961-8061 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字
小田倉原1
TEL：0248-25-7777 FAX：0248-25-7540
メールアドレス：ilet@chikusan-kankyo.jp
ホームページ：http://www.chikusan-kankyo.jp/